



静岡市 いきもの 散歩マップ

丸子川・広野海岸公園コース

しょくぶつ

- ハマヒルガオ** 砂浜に生えるツル植物で、5～6月に淡い桃色のラッパ型の花を咲かせます。
- ハマエンドウ** 砂浜に生えるマメの仲間です。4～5月に紫色の花を咲かせます。
- ハマゴウ** 砂地の海岸や河原で、地下茎が砂中に長く太く横たわり、大きくなります。7～9月に紫色の花を咲かせます。
- ハマダイコン** 野生化したダイコンが、砂浜に広がったもので3～6月に淡い桃色の花を咲かせます。
- コウボウムギ** 砂浜に生えているカヤツリグサの仲間です。5～7月に太い穂をつけます。かつては、この茎の繊維から筆をつくりました。
- ツルナ** 砂浜に生えるつる植物です。葉は厚く、一部の地域では食用にされます。4～11月に小さな花をつけます。
- コバンソウ** ヨーロッパ原産のイネの仲間です。7～9月に小判型の穂をつけることからこの名があります。
- テリハノイバラ** 小さな木で、6～7月に白い花を咲かせます。崖地や岩場のほか、河原や海苔でも生えています。

むし

- ベニシジミ** 3cmくらい小さなチョウで、堤防や畑のまわりなどでよく見かけます。成虫は3～11月に発生します。
- ウラナミシジミ** はねの裏に薄い褐色と白の縞模様があるシジミチョウの仲間です。幼虫はクズなどのマメ科植物を食べて育ちます。
- カワラバッタ** オスで2.5cmくらい、メスで3cmくらい大きなバッタです。全体が灰色で、背中のみだら模様は、まわりの砂や石に似ています。
- ショウリョウバッタ** オスで5cmくらい、メスで8cmくらい大きなバッタです。雄は飛ぶときにキチキチと音を立て、キチキチバッタとも呼ばれます。
- ベッコウハゴロモ** 1cmほどで、はねに白色の2本の帯状の斑紋があります。クズなどのマメ科の植物の茎の汁を吸います。
- クルマバッタ** 飛んでいるときに、後足の関節が車輪がまわっているように見えるのでこの名があります。7～11月に見られます。
- トノサマバッタ** 緑色または褐色で、はねは濃茶色と白色のまだら模様の大きなバッタです。7～11月に、空き地や河原などで見られます。
- チャバネアオカメムシ** 名前のとおり、全体的に緑色で、はねが茶色のカメムシの仲間です。モモなどの果物の茎の汁を吸います。

アクセス情報

【バスでのアクセス】
徳洲会病院バス停まで
 1. 静鉄バス静岡駅前バスターミナル2番乗場より「中原池ヶ谷線[27]静岡IC経由 徳洲会病院行き」、または7番乗場より「東 新田下川原線[92]本通・下川 原方面経由 徳洲会病院行き」に乗る。
 2. 「徳洲会病院」にて下車。徒歩約5分で丸子川の下川原南橋に到着。

- ### 緊急連絡先
- 静岡県救急医療情報センター TEL&FAX: 0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
 - 消防 119番
 - 警察 110番

- ### 注意事項
- ハイキングでの安全は自己責任をお願いします。季節に合わせた服装・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
 - 里山には、ハチやヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
 - コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
 - 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。
 - コース周辺の私有地には駐車しないでください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
 発行者：静岡市環境創造課
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
 TEL: 054-221-1319 FAX: 054-221-1492
 制作年：令和4年2月

とり

- コサギ** 留鳥 白いサギの仲間では一番小さく、足指のところだけ黄色いのが特徴です。魚や水生動物を食べています。
- キセキレイ** 留鳥 全長20cmくらいの小鳥で、腹部に黄色が交じります。川原の水辺で1年中見られます。
- マガモ** 冬鳥 シベリアなどからやってきて、冬を池や沼で過ごします。オスは頭が緑色ですがメスは褐色の地味な色です。
- カイツブリ** 留鳥 ハトより小さな水鳥です。全国の池や湖にすんでいて、水中に潜って魚をとって食べます。
- ダイサギ** 留鳥 日本の白いサギの中では最も大きくなります。くちばしは、冬は黄色で、夏は黒く変わります。
- コチドリ** 夏鳥 夏鳥として、川原や湿地に飛来し繁殖する小型のチドリです。眼の周りの黄色いリングと胸の黒いリングが特徴です。
- オカヨシガモ** 冬鳥 冬鳥として、湖や河川などに飛来します。大きさはマガモと同じくらいです。オスは灰色、メスは褐色で地味なカモです。
- カンムリカイツブリ** 冬鳥 冬鳥として、海や河口、湖に飛来する大型のカイツブリです。夏には全身赤茶色に変身します。
- アオサギ** 留鳥 日本で見られるサギの仲間でも最も大きくなります。全体的に青みがかった灰色に見え、頭の後ろに長い冠羽があります。
- イソシギ** 留鳥 留鳥として、河川や河口などに生息する小型のシギです。尾をピンピン振るながら、磯の昆虫などを食べます。
- キンクロハジロ** 冬鳥 冬鳥として渡来するカモの仲間です。池、河口、内湾などで見られます。頭の後ろに垂れ下がる冠羽が特徴です。
- ハジロカイツブリ** 冬鳥 冬鳥として、河口や湖に飛来する小型のカイツブリです。喉から胸にかけて白いのが特徴です。
- サンカノゴイ** 冬鳥 稀な冬鳥です。褐色斑の羽毛は岸辺のアシの中では目立たず、小魚などを食べます。丸子川では、何回か確認されました。
- セイタカシギ** 旅鳥 旅鳥として、河川や干潟に立ち寄ります。脚が赤く長く背の高いスマートなシギです。丸子川でも見られることがあります。
- オオバン** 冬鳥 東北地方北部より南では1年中見られるか、冬に見られる水鳥です。バンよりやや大きく、くちばしは白色です。
- ミサゴ** 留鳥 全長50～60cmの沼などにすむカメです。頭の側面に黄色の模様があり、甲らには3本の縦すじがあります。

水辺のいきもの

- オイカワ** 全長10cmほどの川魚です。繁殖期の5～8月には、オスは水色と桃色の鮮やかな体色になり、ひれは赤色をおびます。
- コイ** 全長が60cmほどで、なかには1mをこえるものがあります。ゆるやかな流れの川や池、沼、用水路などにすんでいます。
- アユ** 全長30cmほどで、川や海などを回遊する魚です。9～12月に、川の中流域あたりで卵を産みます。
- ボラ** 全長が80cm以上に達する魚で、河口や海辺などで多く見られます。水底につもった藻類や沈殿物などを食べます。
- モクスガニ** 甲羅の大きさが5cmほどで、川にすむ大型のカニです。ハサミに濃い毛が生えるのが特徴です。
- アマガエル** 体長が2～5cmほどの小さなカエルです。水辺の草の上や樹木の上ですんでいます。
- クサガメ** 甲長10～25cmの沼などにすむカメです。頭の側面に黄色の模様があり、甲らには3本の縦すじがあります。
- ミシシippアカミミガメ** 幼体はミドリガメと呼ばれ、ペットとして飼われますが、それが捨てられたりして増えており、生態系に問題が出ています。

メモ

しずおか みんなの
しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう 検索

静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)